

2008 年度後期授業アンケートまとめ

ー 2008 年度後期授業アンケート結果の概要

1 2008 年度の実施趣旨と従来との変更点

【授業アンケート実施目的】

- (1)科目担当者が個別に授業改善を行うための資料、また教育自己点検活動のための資料を得る。
- (2)教員相互に、関係科目の改善について課題を共有し改善を行う資料とする。また、アンケート結果を起点として組織的に教育改善に取り組む機会を提供する。
- (3)授業運営の学生参画の必要性を意識し、学生の学習姿勢・理解度・満足度を知るための資料を得る。また、学生の積極性と責任意識を喚起する機会を提供する。
- (4)学部・学科としてのカリキュラム改善のための資料を得る。
- (5)大学全体として教育力の向上に必要な点検資料を得る。

学部の名称変更、学科の改組、新コース設置、新研究科開設に伴い、授業アンケート用紙の記載事項を一部変更した。

【授業アンケート用紙】

以下の点を変更した。

学科等	「文化政策」 「文化政策（1回生は都市環境デザイン）」へ変更 「看護学研究科」を新たに追加
コース・専攻	「埋蔵文化財（考古学）」 「考古学」へ変更、「古文書学」を削除 児童教育学科において「児童教育学科」「幼児教育学科」の2コースを追加 現代マネジメント学科において「現代マネジメントコース」と「救急救命コース」の2コースを追加
学科等マーク箇所	マーク数を一部 9箇所 10箇所に変更

2 調査対象

今回の授業アンケートの調査対象科目は2008年度後期開講、通年開講および春期集中開講の全科目を対象とした。アンケート回答者は受講登録をしている学部学生および大学院生とし、原則として特別聴講学生、科目等履修生は対象外としたが、担当教員の判断で特別聴講学生および科目等履修生のデータが一部算入されている場合がある。

3 調査期間

調査期間は後期開講科目が2009年1月6日（火）から1月31日（土）まで。春期集中開講科目は2009年2月2日（月）～2月13日（金）まで。

アンケートは授業時間を15分ほど利用し、学生が選択式の回答と自由記述が可能な時間を保証した。教員が配布と説明をおこない、その時間内に回収する集合調査法を採用した。

*2008年後期の回収率は全体で74.89%となった。

（参考：2008前期 77.66% 2007後期 76.28% 2007前期 78.66% 2006後期 73.63% ）

4 調査設計

調査項目の基本構造は前年度までと同じである。

- (1) 学部・学科・回生・コースなどの基本データ
- (2) 授業についての選択項目 16項目
- (3) 授業についての自由記述 4項目

基本データおよび選択項目については、マークシートを採用し、データ処理をおこなった。自由記述は教学向上を目的に、授業担当者に返却した。

二 2008 年度後期授業アンケート結果の特徴と傾向

1 授業形態別の結果比較

a. 授業形態別 各ポイントの比較 ... データ

全体のポイントは横ばいだが、すべての項目で伸びがみられる

【全体】としてみれば、評価ポイントは横ばい。微小であるが前年度と比較してすべての項目が上昇した。【講義系】ではすべての項目でポイントが上昇し、特に「配慮」「授業外学習」では 0.2 ポイント上昇した。【語学系】では、評価が低下した項目が多いが、どれも微小である。【演習系】では、微小であるがすべての項目でポイントが上昇した。【実習・実技系】では、すべての項目でポイントが低下した。最も低下した項目は「配慮」であった(0.17 ポイント)。しかし、数値自体はどの項目も高い水準にある。

b. 授業形態別「総合」結果の分布 ... データ

「講義」では 2 点台の授業が増加傾向。「演習」では高い得点分布の一方で特定科目が 3 点台に

「総合」項目の結果を授業形態別の分布でみたグラフでは、講義では 2 点台から 5 点まで広く分布している。授業数の増加も考慮しなければならないが、近年、特に 2 点台の講義が増加傾向にある。演習では多くの科目が 4 点台以降に分布しており、高い評価を得ているが、一方で 3 点台の分布も固定してきている。語学は 3 点台から 5 点までゆるやかに分布している。実習・実技ではサンプル数が少ないが、総じて高い評価を得ている。しかし、今回 3 点台の科目が現れているので注意が必要である。

c. 授業形態別・学科ごとの「総合」結果の分布 ... データ

学科ごとに「総合」結果の分布傾向が異なる

学科ごとの「総合」の結果について、授業形態別(講義・演習)の分布では、かなり傾向が異なる。「演習」では最も評価が低い科目でも 3.0 点であるが、「講義」では 2 点台の科目が目立つ。今回はその講義のいずれも非常勤講師による担当科目であった。

2 外部委託科目の結果

a. 英語系科目の結果 ... データ

本学教員・非常勤講師の各ポイントはやや低下。ECC 教員との差が広がる

ECC 派遣教員が「出席」以外のすべての項目で、それ以外の教員を上回った。本学教員・非常勤講師のポイントは、「私語・環境」以外の項目が昨年度より低下したため、ECC 教員との差が広がることとなった。前年度のアンケートと比較した場合、「総合」が最も低下(0.11 ポイント)した。ECC 派遣教員のポイントは各項目とも総じて高めであるが、前年度と比較すると「出席」で最も低下している(0.11 ポイント)。逆に「明瞭」「学習目標」「改善」はいずれも 0.1 ポイント以上、上昇した。

b. 情報系科目の結果 ... データ

本学教員・非常勤講師のポイントが上昇。総合ポイントの差が 0.33 まで縮まる

ECC 派遣教員がすべての項目で本学教員・非常勤講師を上回った。本学教員・非常勤講師のポイントは昨年度と比較した場合、「配慮」「授業外学習」「出席」で 0.1 ポイント以上低下しているものの、特に「学習目標」の 0.24 ポイントをはじめ、「理解」で 0.22 ポイント、「明瞭」で 0.21 ポイントと高い上昇を示しており、ECC 派遣教員との差は毎年縮小している。ECC 派遣教員のポイントは全体的に横ばいであるが、総じて高い評価を得ている。

3 「総合」項目と他の項目との相関関係

… データ

「将来」「改善」との相関関係が強まる。実技・実習では傾向が変化

4 形態に共通して相関関係が特に強いのは、「明瞭」「学習目標」「意欲」「将来」「改善」「興味」である。07 後期と比較すると「将来」「改善」と「総合」との相関係数に上昇がみられた。

他の授業形態と比較すると、語学では特に「配慮」「学習意欲」との相関関係も強いようである。

実技・実習では、「明瞭」との係数が 0.96、「学習目標」との係数が 0.95 であり、明確な相関関係が示された。また、「私語・環境」が 0.49 ポイント、「改善」が 0.21 ポイント上昇し、07 年後期よりも相関関係が強まった。逆に 07 後期において相関関係が強めであった「理解」が 0.35 ポイント、「触発」が 0.21 ポイント、「学習意欲」が 0.14 ポイント低下しており、「総合」との相関関係が弱くなっている。

4 学科別の集計結果

a. 学科別・科目別の全体集計

… データ

全体的に評価ポイントは微増。ポイント上昇の学科(科目)と低下の学科(科目)が明確に分かれる

ベーシックスキル(日本語)では、全項目でポイントが大幅に低下した。しかし数値自体は高い水準にある。ベーシックスキル(数学)では、「理解」0.39 ポイント、「学習意欲」0.24 ポイントの低下をはじめ、「興味」「私語・環境」「触発」で大きな低下がみられた。

英コミではすべての項目で上昇がみられた。特に「授業外学習」での 0.32 ポイントの上昇をはじめ、「将来」「改善」「興味」「触発」等で大きな上昇がみられた。

書道では全項目でポイントが低下したが、数値自体は高い水準にある。

児童教育では全項目でポイントが大幅に上昇し、他学科と同程度の水準となった。

文化政策(都市環境)では全項目でポイントが低下し、他学科と比較してやや数値が低めである。

現マネでは全項目で大きな上昇がみられたが、他学科と比較してやや数値が低めである。

看護では全項目で上昇がみられ、すべての項目が高めの水準にある。

キャリア(全体)では全項目でポイントが大きく上昇し、本学のキャリア教育の成果が表れている。

資格についても「出席」が横ばいであるが、その他の項目で上昇がみられた。

院文・院政の満足度は高い。また、院看護では初めて後期の授業アンケートを実施したが、全体的に極めて高い数値が出た。

b. 学科別・ゼミ別の集計

… データ

1～3 回生のゼミの評価は上昇傾向。4 回生では低下

【1 回生演習について】

英コミでは「学習目標」で 0.26 ポイント低下したものの、「授業外学習」0.61 ポイント、「触発」0.43 ポイントと極めて大きな上昇がみられ、「総合」でも 0.23 ポイントの上昇がみられた。

文化財は「配慮」で 0.29 ポイント、「出席」で 0.28 ポイント低下したものの、「明瞭」「私語・環境」での 0.37 ポイントの上昇をはじめ、「理解」0.32 ポイント、「自主学習」0.26 ポイントと大きな上昇がみられ、「総合」でも 0.21 ポイント上昇した。

児童教育では「総合」は横ばいであるが、「配慮」「私語・環境」「改善」「出席」「学習意欲」で低下がみられた。他学科と比較してやや低めの水準にある。

現マネでは「出席」で 0.17 ポイント低下したものの、「授業外学習」0.31 ポイント、「改善」0.29 ポイントの上昇をはじめとして、「意欲」「理解」等でも高い上昇を示し、総合でも 0.18 ポイント上昇した。

救急救命は 2007 年後期のデータがないため 2008 年前期との比較を行ったが、全項目とも大幅にポイントが低下し、平均的な満足度となった。「総合」のポイントは 3.90 であり、やや低めである。

都市環境では「出席」で 0.32 ポイント、「興味」で 0.19 ポイントの低下がみられたが、全体的には横ばいである。

看護では「私語・環境」「学習意欲」以外の項目のポイントが低下した。「改善」で 0.24 ポイント、「興味」で 0.21 ポイント低下している。

1 回生演習全体では「配慮」でやや低下したが、総合的な評価は横ばいである。

【2 回生演習について】

日語日文では全項目で大幅にポイントが上昇し、他学科と同水準になった。

歴史は「私語・環境」「将来」「興味」で大きな上昇を示した。

文化財では「触発」「自主学习」以外の項目でポイントが低下し、他学科と比較してやや低めの水準となった。

児童では全項目、高い数値を示した。

看護は「明瞭」「出席」「自主学习」などで高い上昇がみられ、もともと高かった数値がさらに高くなった。

2 回生演習全体では評価は全項目で上昇。

【3 回生演習について】

英コミでは全項目でポイントが上昇した。特に「明瞭」「学習目標」「私語・環境」「将来」等で大きな上昇がみられた。

日語日文では「配慮」「私語・環境」「出席」等で大きな上昇がみられ、「総合」も 0.14 ポイント上昇した。

書道では「配慮」「興味」「触発」等で大きな伸びがみられ、「総合」も 0.14 ポイント上昇した。

歴史は「学習目標」で 0.23、「意欲」で 0.22 ポイント低下した。他学科と比較してやや低めの水準にある。

文化財は「私語・環境」が横ばいのほか、他の全項目でポイントが上昇した。特に「配慮」「授業外学習」「改善」等で大きな上昇がみられた。

現マネは全項目とも大幅にポイントが上昇した。特に「明瞭」「意欲」「理解」等で著しい上昇がみられた。

文化政策は全項目でポイントが上昇したが、他学科と比較してやや低めの水準にある。

3 回生演習全体では評価は全項目で上昇。

【4 回生演習について】

英コミでは全項目でポイントが低下した。0.5 ポイント台の低下も多いが、数値自体は他学科と同水準にある。

日語日文では「将来」「改善」「出席」以外の項目でポイントが低下した。「学習目標」「理解」「触発」で 0.3 ポイント台の低下がみられ、「総合」でも 0.34 ポイント低下した。

文化財では「明瞭」「意欲」「理解」「興味」等で大きな上昇がみられ、「総合」でも 0.16 ポイント上昇した。

文化政策では全項目でポイントが低下した。0.2 ポイント台後半から 0.4 ポイント台の低下が多く、「総合」も 0.23 ポイント低下した。特に「学習意欲」「自主学习」では 3 点台の評価となった。

4 回生演習全体では評価は全項目で低下。

三 基本データ

1. 基本データ

以下の 6 項目とした。

科目名 クラス 学部(院)・学科 回生 コース 科目コード

2. 授業についての選択項目

下表の 16 項目について [1: とてもそう思う 2: まあそう思う 3: どちらともいえない 4: あまりそう思わない 5: まったくそう思わない]のうち、もっともよくあてはまると思うもの一つだけにマークさせた。

質問の意図を明確に理解させるために、各項目に[明瞭]などのようにキーワードを設定した。

【A. 教員の授業方法について】	
教員は、指示や授業内容の説明を、はっきりと聞き取りやすく行った。	[明瞭]
教員は、この授業の学習目標をわかりやすく示していた。	[学習目標]
教員は、十分な準備を行い意欲的に授業を進めた。	[意欲]
教員は、学生が自主的に質問や意見を述べられるよう配慮していた。	[配慮]
教員は、授業外での学習方法(資料・課題など)を示していた。	[授業外学習]
教員は、授業を妨害する私語等を少なくするよう環境を保っていた。	[私語・環境]
この授業の内容は、将来役に立つものであったと思う。	[将来]
この授業で感じた授業方法の問題点は、授業期間中に改善された。	[改善]

〔B．あなたの理解状況について〕	
私は、この授業で学んだ内容をよく理解することができた。	[理解]
私は、この授業の内容に興味・関心を持つことができた。	[興味]
私は、この授業から新たな問題意識や知的好奇心を刺激されるが多かった。	[触発]
〔C．あなたの授業態度について〕	
私は、この授業にまじめに出席した。	[出席]
私は、この授業に関して教員の指示に従い熱心に勉強した。	[学習意欲]
私は、教員からの指示以外に、自主的に学習して取り組んだ。	[自主学習]
〔D．総合・その他〕	
この授業は総合的にみて、良い授業だったと思いますか。	[総合]
各担当教員の自由設定項目	[自由]

3．授業についての自由記述項目

上記 16 項目への選択項目以外に、自由記述式で授業について以下の 4 つの質問を設定した。

- この授業のどの点がよかったですか。
- この授業のどの点がよくなかったですか。
- 良くなかった点を改善するためにはどうしたらよいと思いますか。
- その他この授業で感じたことを自由に記入してください。

4．回収・集計方法

(回収) 以下の方法で回収を依頼した。

アンケート用紙の配布は封筒で行う。授業内での回収については、基本的に、学生自身がアンケート用紙を封筒へ直接入れるように科目担当者が指示する。その際、回収封筒の場所を指示する又は教室内に封筒を回す、あるいはクラスサイズが大きい場合、適宜、列の一番後ろの学生が回収を行うなどして、学生が直接封筒へ入れるよう指示する。その際、出席者すべて回収が終わるまで教室から出ないよう指示をする。提出については、授業終了後、授業担当者が持参して提出する。

(集計) 回収した封筒について、大学で集約し、業者(京都電子計算)へ渡す。基本データと、授業についての選択項目を機械(OMR)で読みとり、については読みとり時に[とてもあてはまる]を 5 点、[まあそう思う]を 4 点、[どちらともいえない]を 3 点、[あまりそう思わない]を 2 点、[全くそう思わない]を 1 点に置き換え、各種分析をおこなっている。授業についての自由記述項目については集計や統計処理は一切おこなっていない。集計後、授業担当教員に担当科目のアンケート結果へのコメントや受講者へのメッセージを依頼した。

5 回答者のプロフィール

アンケート対象科目の受講登録者総数と、有効回答数および有効回収率は下表のとおりである。

回生別回収率

	全受講登録者	1 回生	2 回生	3 回生	4 回生以上	大学院生	回生不明
登録者数	24058	9196	9096	3662	1941	162	1
有効回収数	18016	7252	6755	2459	967	157	426
有効回収率	74.89%	78.86%	74.26%	67.15%	49.82%	96.91%	42600%

(参考：2008 前期 77.66% 2007 年後期 76.28% 2007 前期 78.66% 2006 後期 73.63%)

* 有効回答数 = 登録者数 - 欠席者

* 有効回収率 = 有効回答数 / 登録者数

* 2006 年度以降は、以下のように集計方法を改善したため、回収データ中の無効(不明)データは 0 である。

1) 読みとり方式を OCR から OMR に変更し読み取り精度を高めた。

2) 科目コードと所属を、マークに加えて科目ごとに袋で管理し無効(不明)データを無くした。

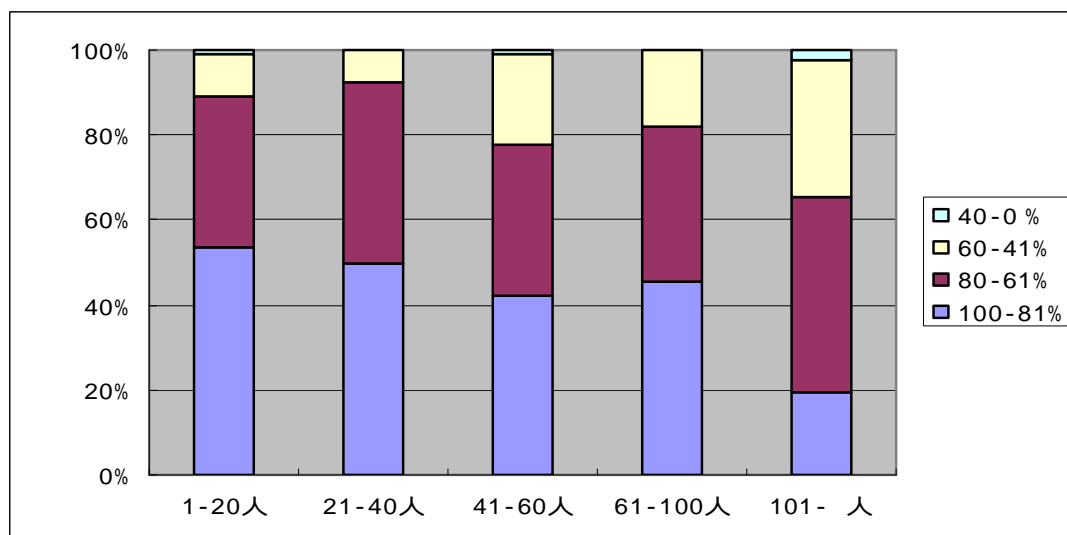
所属別回収率

	英文	日文	歴史	文化財	児童	現マネ	都市環 (文化政策)	看護
登録者数	1087	2873	3932	2049	2969	4297	4142	2364
有効回収数	784	2273	3027	1568	2474	2744	2676	1951
有効回収率	72.13%	79.12%	76.98%	76.53%	83.33%	63.86%	64.61%	82.53%
	院文	院政	院看護	学科不明				
登録者数	66	64	32	183				
有効回収数	41	73	73	332				
有効回収率	62.12%	114.06%	228.13%	181.42%				

児童教育・看護の回収率が高く、現マネ・都市環境デザイン（文化政策）の回収率がやや低めであった。

クラスサイズ別回収率

回収率 クラスサイズ	100-81%	80-61%	60-41%	40-0 %	合計
1-20 人	141	93	26	3	263
21-40 人	101	86	15	0	202
41-60 人	36	30	18	1	85
61-100 人	25	20	10	0	55
101- 人	9	21	15	1	46
計	312	250	84	5	651



6. 教員による 自由設定項目の利用状況

利用率は 8.2% と低い数値だったが、2007 年前期から徐々に上昇してきている。
64 科目 / 776 科目（自由設定項目の利用科目数 / アンケート実施全科目数）

* 2008 前期 5.6% 2007 年後期 6.1% 2007 年前期 3.5% 2006 年後期 16.4%

以上